

学生さんを指導していると「暗記が苦手なんです」という言葉をよく耳にします。皆さん何気に、この言葉を水戸黄門の印籠よろしく掲げます。「暗記が苦手だから、成績が悪いのかもしれないですよ」と言いたげですが……果たしてそうでしょうか？。もしそうだとしたら、成績の悪い人ばかりという状況になってしまいますよ。だって、暗記が得意なんて人、まずいませんから。私もたくさんの学生さんを指導してきましたけど、「暗記が得意！」なんて方には、まずお目にかかりません（時々まいることはいるんですけどね）。ほとんどの人が暗記は苦手なのです。だから、ご安心をば。「安心なんかできませんよ！覚えることが山のようにあるんですから」なんていうお叱りの声をいただきそうですが……。ちょっと待ってください。今、「覚えること」と言いましたが“覚える”と“暗記”を同じことだと思っていないですか？。実はちょっと違うんですよ。“暗記”には何種類かの意味があるんですが、一般に言われている“暗記”は「理解が伴っていない記憶」を指していることが多いようです。学生さんが使っている“暗記”も、どうやらこちらを指しているみたいですね。つまり、学生さんの中では「覚えること」＝「暗記すること」、そして「暗記＝理解が伴う云々よりもとにかく知っていること」、俗に言う“丸暗記”となっているようです。もちろん「覚える」＝「丸暗記」ではありません。

それではここからは話を分かりやすくするために「暗記＝丸暗記：理解が伴っていない記憶」、「覚える＝理解が伴っている記憶」ということで進めていきましょう。

その前に…それは暗記すべきことですか？

昨今の学生さんを指導して気になることに、「考えるのが嫌いな人が多い」ということがあります。考えるのが嫌い……う～ん、薬学は仮にも理系、考えることが好きな人が来るのでは……別に文系の人「考えるのがイヤな人」と言っているわけではありませんよ。「薬学に来るんだから、国家試験に出題されるような科学的なことを考えるのは好きなんじゃないですか？」と言っているのです。

実は、昨今の学生さんが計算問題や長文問題に弱い理由が、ここに 있습니다。計算問題も長文問題も「考えて解いていく問題」なのですが……「考えるのがイヤ」だから「解かない・捨てる」傾向にあるみたいですね。1点が重要な国家試験。単なる「好き嫌い」だけで「問題を解かない・捨てる」とは、言語道断な話なんです……。

話を元に戻しましょう。「覚える＝理解が伴っている記憶」ですから、当然、覚えるためには“理解”が必要になります。そして“理解”には“考える”という行動が必ず伴います。「物事を知る」ことから「なぜそうなのか？」が生じて、その「なぜ？」を考え

て「理解した」へと導かれるからです。“考える”がなければ“理解”まで導かれませんが、当然“覚える”に到達することなく、「知っているだけ」止まりになってしまいます。「理解せずに意味も分からず知っているだけ」、これがいわゆる丸暗記、皆さんが言うところの“暗記”というわけです。実は「暗記が苦手」という人のほとんどが「考えるのが嫌い」みたいなのです。「考えるのがイヤだから暗記しよう（つまり理解しないで丸暗記しよう）」、でも「そんなにたくさん暗記できない」。だから「暗記が苦手」という図式になっているようです。そりゃあそうでしょう。何でもかんでも意味もなく頭に詰め込もうったって、そんなにたくさん頭に入るわけありませんよ（笑）

実は理解する方が圧倒的に早く、効率的に覚えることができますけどね。「意味もなく頭に詰め込むだけ」なんて、面白くない

「暗記は苦手」はあなただけではありません！

薬塾の学習指導

どころか苦痛でしょ？。何より、“覚えた知識（理解が伴って記憶された知識）”は、自由自在に使いこなすことができる知識になります。残念ながら“暗記しただけの知識”は知っているだけで、それ以上の使い道はありません。

前述のように「暗記が得意です」といった学生さんも時折います。羨ましいですか？。実はそういう学生さんの指導は、何気に大変なんです。 「暗記が得意」という学生さんは“暗記”に頼りがちで、“覚える”すな

わち「考えて理解して記憶する」ということをせず、理解抜きに暗記してしまおうとする傾向にあります。そういった人の成績は、ある程度まではスムーズに伸びるのですが、後半頭打ちになってしまうパターンが多いのです。どんなに得意といったところで、一人間の暗記量なんか高々知っていますし、第一“知っているだけで使いこなすことができない知識”なんて、いくら持っていたって、問題解法に挑むにはあまりにも微力すぎますからね。「暗記した100の知っているだけの知識」よりも、「覚えている30の使いこなせる知識」の方が、よっぽど試験対策には役立つのです。

昨今の学生さんが大好きなものの一つに“語呂合わせ”があります。ゴロゴロと何でも語呂合わせにしてしまう傾向があるみたいです。理解してもらおうと内容を説明している矢先から、「それで語呂合わせ作ってください」なんて強者（？）もいるくらいで。

確かに語呂合わせが有効な場合もあります。しかし、語呂合わせというのは丸暗記の代表格。何でも語呂合わせというのは、お勧めできません。やはり、理解して覚えなければならぬものは、そうするに越したことはありません。一見、大変そうですが、確実に身に付けることができますし、何よりも使いこなせる知識へと成長するんですから。“急がば回れ”じゃないですけど、効率が悪そうに見えても、実はその方がずっと近道というのは勉強にも往々にしてあり得ることなのです。「理解すべきことは理解して記憶した方がはるかに効率がいい」ということを、しっかりと覚えておいてくださいね。“覚えておいてください”ですよ。“暗記しておいてください”じゃありませんからね（笑）。

私たちは、ワタキューグループの一員です。

フロンティアは全国に136店舗の調剤薬局を展開しております。

「心」を社とする医療、福祉、健康関連企業であるワタキューグループの一員として、調剤だけにとどまらず、栄養相談、居宅支援まで患者様のニーズに幅広く応える

「トータルケア」を基本に、心温まる薬局サービスを目指しています。

患者様に信頼される薬のスペシャリストとして、フロンティアとともに学び、成長し、

私たちと一緒に新時代の薬局を築いていきませんか。



株式会社フロンティア

ワタキュー薬局 フレンド薬局 ワタキューフジタ薬局 フォレスト薬局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪MTビル2号館14階
TEL 06-6396-8100 FAX 06-6396-8101 E-MAIL soumu@frontier-web.jp

全国136店舗・関西64店舗

(2008年8月現在)

私たちと一緒に働きませんか？

新卒

中途

薬剤師募集中！

採用フリーダイヤル

0120-89-7060

ホームページ

<http://www.frontier-ph.com>